

問題発見型／解決型学習(FBL/PBL)
テーマ提案（学生募集内容） / Project Proposal

テーマ名称 Project name	ICTを活用する新しい地域交通システムのサービスデザイン Service design of a new regional transportation system using ICT
実施責任者 Instructors	情報学研究科システム科学専攻 助教 平岡敏洋 デザイン学ユニット 特定教授 川上浩司
実施協力者 Collaborators	株式会社 CDS 経営戦略研究所 シニアストラテジスト 奥間保胤 株式会社 NTT データ東北 杉山光宏
テーマの背景 Background	地方中核都市圏では公共交通機関が一定水準で整備されている一方で、その周辺地域では、人口減少と高齢化が加速しており、公共交通機関のサービスを維持することが困難になっている。そこで近年では、オンデマンドバスやシェアリングサービス、さらには自動運転車に対する期待が高まっているが、個々の技術開発ばかりが進み、新しいモビリティサービスの包括的なデザインに関する議論はあまりなされておらず、また、サービス提供側の思惑とユーザ側のニーズの乖離が著しい現状にある。
実習の概要 Overview	<p>本実習では、地方中核都市圏およびその周辺地域を対象に、交通 IC カードやスマートフォンといった ICT の利活用だけに着目するのではなく、システムを利用するユーザの視点に立つことで、ユーザの移動の質 (Quality of moving) を向上させると共に生活の質 (Quality of life) の向上に資する新しい地域交通システムのサービスデザインを行う。さらには、地域住民だけでなく、国内外からの旅行者を対象としたサービスデザインも検討する。具体的には、仙台市と石巻市を中心とした地域を対象として、現地視察ならびに関係者（コンサルタント、ICT サービスプロバイダ、自治体担当者、地域住民など）との意見交換を行いながら実習を進め、社会実装を前提としたサービスデザイン案の構築と実現に向けた課題整理並びに解決策の検討を行なう。</p> <p>This project aims to design services of new regional transportation system in the local metropolitan area and its peripheral areas. The system will improve not only quality of moving (QOM) but also quality of life (QOL), by focusing on ICT utilization such as transportation cards and smartphones, and based on user-centered perspective. Moreover, this project will design services for domestic and foreign travelers. We plan to visit Sendai city and Ishinomaki city to discuss with related persons such as a business consultant, an ICT service provider, and officials in local government. Finally, we list problems to be solved and we try to produce service designs which will be implemented actually.</p>
実施計画、実施場所 Schedule, location	吉田キャンパスおよび仙台市内、石巻市内。詳細は実施計画を参照。
履修条件 Conditions for participation	特になし。
募集人数 / Number of participants	3名以上、12名以下

1次募集締切 Application deadline	4月19日(水)
応募資格 Intended participants	京都大学の学生。応募多数の場合には、デザイン学履修者を優先する。
応募方法 How to apply	デザイン学公式 Web の FBL/PBL のページ (下記) から参加申込を行うこと。 http://www.design.kyoto-u.ac.jp/education/fbl_pbl/
参加者の決定 Decision of participants	4月24日(月)までにメールで参加の可否を通知。 ※1次募集で参加不可となった者を主な対象として2次募集を行う(4月25日～27日)。参加者枠に余裕のあるテーマに応募可能。(原則として先着順)
問題発見や解決に用 いるデザイン理論や デザイン手法 Design theories and methods for framing and solving problems	ブレインストーミング, ワークショップ, リフレイミング, 不便益。 Brain-storming, Workshop, Reflaming, Benefit of Inconvenience.
理論や手法の学習方 法 How to study theories and methods	吉田ファブにおける講義ならびに仙台市・石巻市における現地調査を通じて行う。
成果の公開方法 Publication of the results	発表会ならびにウェブ上にポスター資料を掲載 Presentation to interested persons, and poster file on web site.
成績評価方法 Evaluation	出席4割, 結果3割, 活動状況3割。 Attendance rate (40%), results (30%), and activities (30%).
特記事項 Special remarks	テーマに関する質問があればメールで受け付ける。(宛先: hiraoka@sys.i.kyoto-u.ac.jp) We accept any question by e-mail to hiraoka@sys.i.kyoto-u.ac.jp .

実施計画 / Schedule

コマ Unit	日程 Date	場所 Location	実施内容 Content
1-3	5月第2週	吉田ファブ	<ul style="list-style-type: none"> ・実習課題の背景と課題の説明. ・設計論としての不便益に関する講義. ・発想支援法(ブレストバトル)に関する講義と実施. ・以降の日程調整.
4-8	5月第4週	仙台市・石巻市	・仙台市と石巻市にて, 現地調査ならびに関係者からの情報収集を行う(2日間)
9-11	6月第2週	吉田ファブ	・アイディエーション
12	6/26(月)	吉田, 桂	・中間発表会(予定: 18時～)
13-14	7月初旬	吉田ファブ	・最終的なアイデアの詳細化とプレゼンテーションの準備
15	7月下旬	吉田ファブ	・最終発表会